

目次

見えない世界の科学が医療を変える

〜がんの神様ありがとう〜

はじめに…………… 3

第一章 こころの健康を考える 〈病を医するは自然なり〉…………… 13

科学的方法論の限界…………… 15

生かされていることへの感謝…………… 19

東洋的一元論と量子論…………… 24

第二章 西洋医学は万能なのか…………… 29

がんを取り巻く現況…………… 31

科学的方法論と西洋医学…………… 33

医学と医療の違い…………… 36

13歳の少女から教わったこと 〈非科学的なるもの〉…………… 40

第三章 量子論の説く世界観とは

パラダイムシフト……………49

摩訶不思議なミクロの世界……………50

極微から極大の世界へ……………56

見えない世界を科学する……………60

第四章 こころとがんについて

ストレスとがん ～安保理論について～……………71

万能細胞とがん……………74

ヘッケルの反復説と万能細胞……………83

低酸素環境とがん……………87

自分を褒める……………90

第五章 ところで身体は変わる

想念と遺伝子……………97

人間を動かすものは情……………103

想念はエネルギー……………106

シューマン共振……………110

低酸素環境への適応……………114

絶望からの生還 ー元脳神経外科医・佐藤正純医師ー……………119

第六章 がんの医療を考える

がんの告知について ー患者さんには逝く力があるー……………129

がん患者を取り巻く環境の変化 ー井村医師と飯島氏ー……………136

医師ががんにかかるとき……………142

がんの神様……………148

見送る医療	155
“往きの医療”と“還りの医療”	159
がんの医療における“還りの医療”、望まれる緩和ケアとは	162

第七章 東洋哲学と西洋医学が新しい医療と新しい社会を拓く 169

遠藤周作氏と東洋哲学	171
東洋哲学と西洋科学の接点	173
愛・感謝・受容	177
日本人の使命とは	178
これからの病院の役割	182
桑原啓善先生に捧ぐ	189
あとがき	199